



<本年度クラブ会長方針>

No.1540

「拡げようロータリーの想い、職場に社会に」

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 大原敏正 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
 幹事 鬼頭茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーは機会の扉を開く

<2020-21年度 R.I.テーマ>

R.I.会長 ホルガー・クナーク

第1812回例会

ロータリー親睦活動月間
 令和3年6月29日(木)
SPEAK OUT DAY
(オンライン例会)
 ・Zoomミーティング
 会員53名
 出席計算数
 53名中53名出席
 出席率100%
 前々回出席率100%

例会プログラム(リモート)

★米山奨学生挨拶

★SPEAK OUT DAY

★卓話(岡田 尚彦さん)

ロータリーソング

「我等の生業」(歌唱なし)

ゲスト(リモート)

米山奨学生

馬 健淋けんりん

会長挨拶

大原 敏正

皆さんこんにちは、如何お過ごしでしょうか。

本日の卓話は岡田尚彦副会長にお願いしました。大須ロータリーのゴルフ部会の会長でゴルフ好きは知られていますが、その他に多彩な趣味を持っていらっしゃるのですね。本日の卓話を楽しみにしています。宜しくお願いします。

今週は歯の衛生週間です。毎年本当にぞぞやかではありませんが、会員のみならずに歯クリニックを配ら



つかしい「マルカワフーセンガム」のセットを、最終例会時に進呈します。

○第一問

「人間の歯は生涯で1度だけ、乳歯から永久歯へと生え変わりますが、最も多く生え変わると言われている動物はサメです。さて何本生え変わるでしょうか？」

- ①数十本 ②数百本 ③数千本

正解は③数千本です。サメの歯は生えている歯の後ろに、次に生える歯が準備されていて、一本で

も脱落すると外一列全てが抜け落ちていくのです。無駄が多いですね。

○第二問

「動物の中で、最も歯の数が多い動物は次の内どれでしょうか？生え変わりはありませんよ。」

- ①イナコ ②ウニ ③カタツムリ

正解は③カタツムリです。カタツムリはベタベタりくっつく部分に「歯舌」という細かな歯があり、やすりの要領で、葉っぱを削り取り食べます。これは硬いコンクリートも削れるほど丈夫で、その本数は1万本以上あります。

○第三問

「ソウの牙はどの歯が伸びたものでしょうか？」

- ①下顎犬歯 ②上顎前歯 ③上顎犬歯

正解は②上顎前歯です。長いものでは3m以上で100kgを越します。因みにソウの奥歯は歯がすり減ると、



奥から新しい歯が前に移動して来て押し出されて抜け落ちていきます。まさに歯医者になります。

○第四問

「キリンは映像より高い木の葉っぱや小枝を上手にくわえて食べていますが、その歯の特徴は次のどれでしょうか？」

- ①前歯がない ②前歯の本数が非常に多い ③顎がシュレッターの様に動き、前歯で切り裂く

正解は①前歯がないです。正確には上の前歯がなく、舌が上手に葉や小枝に絡み上顎の前歯部分の硬い歯茎に押しつけて引きちぎります。奥歯ですの合わせて食べています。葉っぱでは栄養価が低いため起きている間はしょっちゅう食べ続けなければならず、正味の睡眠時間は一日30分程度だそうです。

如何でしたでしょうか？ 全問正解の方はいらっしゃいましたか？豪華プレゼントは最終例会の時にお渡ししますので楽しみにお待ちください。

卓話

「日本の映像彫刻について」

副会長 岡田 尚彦

こんにちは。ロータリーに入会して37年。今までに223回卓話をさせて頂きましたが、今までの卓話では話をしなかった私の趣味の中から話をしていきたいと思います。

私は結構趣味が多いのですが、間口は広いが奥行きがないという代物ばかりです。ゴルフばかり、陸上競技ばかり、切手収集ばかり、映画鑑賞ばかりです。皆中途半端なものであります。人間も中途半端なので知識に乏しいため、本日は仏像彫刻のさわりだけをお話します。

中学・高校時代、陸上競技をやっていたので、大学でも運動部に入っていたのですが、工学部に入ってしまったので、運動をあまりやらぬ、土都京都らしいクラブに入ると思い、女性が比較的多い古美術研究会に入会しました。その中の彫刻分科会を選んだのですが、残念ながら彫刻は女性が少ない分科会でした。僕は中学・高校と男子ばかり、大学も工学部で女性が少なく、彫刻分科会も女性少なく、女性に縁がなくても薄い人です。冗談はさておき…

彫刻分科会は、日本彫刻の主に飛鳥時代から鎌倉時代までの様式論を研究する会です。仏像を仏として礼拝の対象とするのではなく、美術品として捉えている。そのような観点から今回のお話をすすめていきます。

日本彫刻はそれぞれの時代において特徴があります。今回はそれぞれの様式の違いをお話するのではなく、仏像制作に使用された材料の違いについて話を進めてい

きたいと思えます。

飛鳥時代

まず仏教伝来の552年〜大化の改新645年までを飛鳥時代といっていますが、現存する仏像の約3/4が金銅仏(銅に金メッキを施したもの)です。残りの1/4が木彫(一木造)いちぼくつくり)です。一木造とは一つの像を一本の木から彫り出したものですが、頭部から胴体までが一本で、腕や膝など突出部が別合はさわせてあっても一木造としています。

この時代の木彫の特筆すべき事は、一体を除き、すべての像がクスノキという樹種でつくられている点です。その一体は、京都本薬師の広隆寺にある、宝冠弥勒菩薩半跏思惟像(冠をかぶったような頭をしているので)であります。日本



の国宝第一号に指定されている仏像です。

広隆寺にはもう一体、弥勒菩薩があります。通称「泣き弥勒」と呼ばれ頭が垂れたような形をしていて、宝冠に対して宝髻弥勒

菩薩と区別しています。この宝髻弥勒菩薩はクスノキ

です。宝冠弥勒は、昭和35年に当時の京

大生がこの像のあまりの美しさに心を奪われ口づけをしようとして薬指を折ってしまったというアクシデントがありました。この像だけは、彫刻には適さない、日本人なら絶対に使わないアカマツ材で作られており、しかも木裏(きつら)から彫ってあります。この事から、この像は朝鮮で作られ我が国にもたらされたか、用材のまま我が国へ送られ、朝鮮から渡来した仏師が日本で完成させたのか、どちらかと言われております。ちなみに、ソウルの国立中央博物館に瓜二つの金銅仏(金銅弥勒菩薩半跏思惟像)があります。

他の時代では利用されていないクスノキが、何故この時代だけ使われたのかという理由ですが、我が国に最初にもたらされた仏像は白檀という木で作られていました。白檀は、香木と言われる強い香りのある木です。我が国には無い木なので、代替材として香木のクスノ



キが利用されたのではないかと考えられております。

更にクスノキの材質は、比較的硬くもなぐ刃切れがよく、逆目もたりにくい、耐久性もあるという特徴があり、当時の刃物で加工するに易しい材料であったと思われるます。

白鳳時代

さて、次の白鳳時代は大化の改新の645年〜710年の平城遷都までをいいますが、一言で言えばあどけない顔をした童児形の仏像が多く見られます。しかもこの時代より藤原時代まで、製作者の名前が伝えられなくなりました。木彫が無くなり、金銅仏が多くなりました。後期には金銅仏の他に、塑像(粘土の像に彩色したもの)や乾漆像があらわれます。乾漆とは、粘土で像の大体の形をつくり麻布を漆で塗り固め、これを数回繰り返して十分乾漆した後、像を



無病息災。
切なる願いは、ここに。
薬師三尊像
奈良薬師寺
金堂・金銅仏

割って内部の土を除き、木枠を入れて像が変形しないようにし、最後に表面に彩色を施して仕上げをする技法です。

天平時代



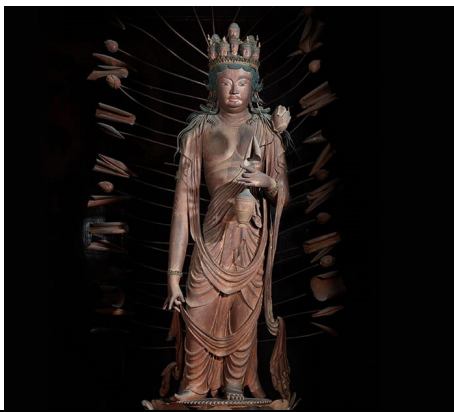
阿修羅立像(奈良薬師寺・乾漆像)

天平時代は平城遷都710年〜平安遷都794年までの約80年間をいいます。この時代は各地に離れていた寺院が奈良に移転し、聖武天皇によって諸国に国分寺、国分尼寺が建立され、15mに及び金銅盧遮那仏を本尊とする東大寺が造られました。次の孝謙天皇も西大寺を建立し、奈良仏教界が大いに栄えた時代でした。東大寺造営の時には造東大寺司という役所が設立され、彫刻は造仏所というところで多くの工人達により分業的に製作され大量生産が行われました。銅、金、銀などの金属の像、

乾漆・塑像・磚（煉瓦のごとて土を焼いて方形・長方形の平板として像を浮彫にしたもの）、後半には木彫も加わって多くの種類の仏像が作られました。

貞観時代

貞観時代は平安初期・弘仁時代とも言われ、平安遷都794年から894年の遣唐使停止までの約100年を指します。腐敗した奈良仏教界の勢力から脱皮すべく桓武天皇は長岡遷都を経て山城の地に平安京を建設しました。奈良の寺院をすべて取り壊して、渡唐して新仏教を持って帰国した最澄や空海の天台・真言の二宗を重用しました。特に空海の真言宗は荘重な祈禱を重んじるため、当時の貴族の心に投じ勢力を伸ばしました。また天台宗も最澄の弟子、円仁、円珍を経て、勢力を伸ばしました。



十一面觀音菩薩立像
奈良法華寺・カヤ材一木造

盛んな秘法・修法・祈りによって現世利益を得られると信じられ、密教と呼ばれました。こうした情勢のなかで彫刻様式も変わり、時間やお金のかかる金銅仏や乾漆像などが少なくなり、刃物の発達もあり、空海らの密教の仏像様式などが加わって多彩な仏像が木材の一木造で作られます。さらに彫刻に最も適していると知っていたのでしよう、白木の木肌の美しさを表現したヒノキという材料を用いたものが多くなります。

当時中央と言われている京都・奈良地方では、木彫は良材のヒノキが使用される例が多いですが、中国から渡来した仏像の影響もあり、サクラやセンダンなどの木が用いられることもありました。

関東地方をみてみると、カヤ・ヒノキの他にカツラ・ケヤキ・クワ・サクラなどの木が使われ、ヒノキの使用割合が少なくなっています。更に東北地方になると、ヒノキは使われなくなり、カツラ・ケヤキ・ハルニシ・サクラ・ハリギリなどの広葉樹が主体になっています。

藤原時代は平安中期・後期をいいます。遣唐使停止の894年、平家滅亡の1185年の約290年です。藤原氏が全勢をしいめた時代であり、和様化という文化が好まれました。顔つきや体軀は丸みが加わり、衣文の数が減り、彫

りが浅くなってきました。11世紀初頭に仏師定朝が出現して、和様仏像の完成をみました。またこの頃は、未法思想が盛んになり、当時の貴族は沢山の仏を作ることが作善とされ、多くの仏像が作られました。それを満たす為に、多くの木を寄せ集めて造る寄木造という造仏法が行われ、頭・胴体・両腕・膝を別木で造るものや、更に各部



阿彌陀如来坐像
京都平等院鳳凰堂・ヒノキ寄木造

を細かく矧はぎ合わせるものもありました。同時に多数の仏師が分業的に仕事をすることが可能であり、需要に際えることができませんでした。

鎌倉時代

最期に平家滅亡1185年、南北朝の合一1392年を鎌倉時代といえます。貴族から武士に実権が代わり力強い作品が生まれてきました。その原動力は運慶であり、快慶や定慶などと一緒、奈良・



仁王立像
運慶・快慶作
会慶
東大寺南大門・ヒノキ木彫寄木造



興福寺や東大寺などの復興事業という好機にも恵まれ、鎌倉彫刻の繁栄を担っていきました。しかし後半になると法然や親鸞、日蓮などの新興仏教が流行、為政者の為の宗教から一般民衆の為の宗教が台頭、それらの仏教は仏像よりも仏画を重用するようになり、彫刻の需要が少なくなり、造仏界の沈滞をまねいていきました。

この時代の彫刻の特徴は武士の社会を反映して質実剛健で玉眼をいれたりして写実的な仏像が多くなりました。



大日如来坐像・運慶作
奈良円成寺・木彫



みられます。

さらに神奈川鶴岡八幡宮の弁才天坐像のように写実主義のゆきすきで裸の像に本物の着物を着せた像などが作られ日本彫刻の衰退をまねく結果となるのです。

室町時代以降も多くの彫刻が作られています。その時代独自の様式にとほしく、日本の彫刻史は鎌倉以降語られることが少なくなりました。

以上、浅学で菲才な私のお話しをお聞きくださりありがとうございました。

米山奨学生挨拶

米山奨学生

馬

健林



今Weiboでは46万のコメントがあります。

名古屋大須ロータリークラブの皆さんこんにちは。今月中旬に、3社の面接がありますので、内定を取るために頑張りたいと思います。さて、先日中国は夫婦の子供を3人まで認める方針を示しました。中国では少子高齢化が進む中、5年前にいわゆる「一人っ子政策」を廃止して、夫婦が2人の子供をもつけることを認めましたが、今回制限をさらに緩和することになりました。中国では、教育をはじめとする子供の養育費が高騰。価値観の変化もあり、「子供は1人で十分」と考える傾向が強まっています。また、結婚に先立ち男性が住宅を所有していることを前提とする風潮も少子化に影響しているもようです。都市部では経済が発展するにつれて不動産価格が急激に上がったため、結婚が困難になっている面があります。

この話題に沿い、面白いこともありました。「子供2人産むまでは避妊用品禁止」で、卒業論文のタイトルが「二人っ子政策のメリットの人」がどうすればいいかな、と今Weiboでは46万のコメントがあります。

自分から言つのは滑稽かもしれませんが、私は1997年生まれのいわゆる一人っ子政策世代でして、その前親の時代の平均家庭ごとに4人でした。こう考えると、私が40、50歳の時、上に4人の両親を含む親戚の介護をしながら、下の3人の子供と9人の孫の面倒を見る必要があるということになります。従って日本での就職活動を一生懸命頑張りたいと思います。

以上、6月の報告になります。
(奨学金は送金しました。)

地区研修・協議会報告

(5月13日オンライン例会)

次年度青少年奉仕委員長

渡辺 観永

オンラインでの開催となりました。次年度地区研修・協議会へ参加いたしました。インターアクト・ロータリーアクト等のお話しもございましたが、当クラブと特に関わりの深い青少年交換につきましてご報告いたします。

今年度・次年度の青少年交換事業はコロナ禍の影響で残念ながら派遣中止となりましたが、次々年度派遣(2022年8月派遣)に向けて準備に取り組むこのことで、遠山武志次期地区青少年交換委員長から力強いお話がありました。2022年8月派遣の青少年交換に興味がいっぱいありましたら、青少年

Rotary youth exchange program
国際ロータリー 青少年交換プログラム

海を越え 学び 成長する

世界100カ国以上で実施されている国際ロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

日本人であるという意識が身生え、「全ての人が笑顔で人生を全うできる世界」を実現することが夢に。

渡辺 彩加さん
派遣年度: 2010-2011 派遣国: オーストラリア
ステンサー 地区: 02760 受入地区: 09670

2010年4月に、オーストラリアのDandenong High School に派遣された渡辺彩加さん。2010年は国際司法裁判所が主催する「2010年国際司法裁判所主催の青少年交換プログラム」に参加し、その中で「日本人だから」という理由で、なかなか受け入れられなかった。しかし、その中で「日本人である」ということを理解するようになった。国際司法裁判所主催の青少年交換プログラムに参加し、特に国際司法裁判所主催の青少年交換プログラムに参加し、その中で「日本人である」ということを理解するようになった。国際司法裁判所主催の青少年交換プログラムに参加し、その中で「日本人である」ということを理解するようになった。

奉仕委員会までご相談ください。

ロータリー青少年交換学生の目的

ロータリーは、ロータリー国際青少年交換プログラムに基づき、海外のロータリーと留学生の交換を行っています。交換学生は、一定期間外国のロータリアンの家庭およびロータリーが推薦する家庭にホームステイし、その家庭の一員として過ごしながら現地の学校に通学します。そしてその国の言語を習得するとともに、これらの生活を通じて、風俗・習慣・文化を見聞しながら国際理解と親善を推進します。すなわち、善意で国際理解のロータリー使節であります。

当クラブが所属するR-第2760地区では、昨年まで毎年10名前後の青少年を海外へ派遣し、またほぼ同数の受入を実施しています。05-06年度スパンハマー国際ロータリー会長は、「すべての国の高校生がこの青少年交換プログラムに参加すれば世界のすべての戦争はなくなる」と述べられました。

21-22年度(2022年8月派遣)地区青少年交換プログラム

青少年交換学生募集案内について

- 2022年8月～2023年8月
- 1カ年交換 約12名
- (1) 交換(派遣)先
アメリカ・カナダ3～4名
欧州4～5名 フラジル1名
- (2) 対象 出発時16歳～18歳
(18歳未満満)の高校生男女
- 派遣先国によっては僅かながら2023年3月に出発する場合もあります(春派遣)。
- 派遣学生総数は派遣先国合計で12名以内とします。
- 推薦クラブは、来日学生を同数受け入れることが必須条件となります。
- 交換(派遣)先の受入人数が限られており、派遣(交換)希望国の通りにならない(希望国以外に派遣される)場合もありますので志願者はその点をよく理解してください。
- 2021年7月31日(土)に選考テストと面接をもって候補者の決定を行います。なお、面接は保護者同伴で行います。面接は英語で自己紹介・抱負等を述べてもらいます(約30分程度のスピーチを用意してください)
- 応募者の資格
- ◎日本国籍を有する志操正しく健康な高校生で出発時の年齢が16歳～18歳(18歳未満満)のもの。
- ◎学年成績が上位1/2以上で、

- 語学の習得に積極的なもの。
- ◎第2760地区(愛知県)の学校に在学するもの。
- ◎学校長の推薦および留学または休学許可を得られるもの。
- ◎親の許可を得られるもの。
- ◎推薦クラブの会長の承諾を得られるもの。
- ◎中学3年生でも受験資格はありますが、派遣国が限定されることもあります。

6月24日(木) 例会の案内

最終総務例会(風間)
オンライン例会(ハイブリッド形式)
於名古屋東急ホテル3F 錦の間
例会セッション
12時40分～13時00分
SPEAK OUT
13時00分～13時30分

*例会場へ参加する場合は、お食事(お弁当)を12時00分から12時40分(40分間)にお返しください。

<https://00m.in/i4wtb>

7月1日(木) 例会の案内

次年度会長・幹事所見
次年度会長 春日井和良さん
次年度幹事 近藤 明美さん

公共イメージ向上委員会
小澤 幸男・横川 誠人
住田 正夫・山口 正孝
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。